

07



ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト

ぱりっ子会議開催!みんなの意見を市長へ!

名張市内の子どもたちが集まり自分たちの地域をよりよくする活動を主体に考え、活動しています。私たちは子どもたちの話し合いに参加し、子どもたちから出てきた意見や発想が出やすいような言葉がけを工夫したり、まとめたりして最終的に市政への提言に結びつけることができるようなサポート活動を行っていきます。

* TEAM DATA *

メンバーカー数：10名
活動場所：名張市
実施主体：名張市子ども家庭室
担当教員：山本 智子（教育学部）
活動年度：R01, R02, R03, R04



- ・地域にて活動してみたいという人
- ・子どもと触れあうことが好きな人



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大の影響により予定されていた活動に参加できる日が限りがありました。しかし今回は6月から会議に参加できることもあり、私たちは名張市の魅力を紹介するマップであるなばりんマップの作成と市長に提言する内容を考える活動の司会とぱりっこモール開催をするための準備に携わることができました。なばりんマップ作成は私たちの代で二回目の作成であり、今回は地域の偉人である江戸川乱歩とぱりっこ会議で生まれた地域の特産品であるかたやきを碎いてアイスに混ぜた「かたやきソフト」、天然記念物であるオオサンショウウオについての紹介が掲載されているマップを作成しました。子どもたちの意見により、ぱりっ子会議で誕生したキャラクター「なばりん」と江戸川乱歩が会話をして名張市を紹介しているような形式に決まりました。また名張市をよりよくするための活動としてこどもたちの意見により通学路クリーン作戦が2月に行われる予定です。またぱりっ子モールの開催準備では子どもたちがぱりっ子モールで自分たちがやりたいことに合わせてグループを作って準備をしているのでそれを見て回りアドバイスや作成のお手伝いをしていただきました。子どもたちは協力して意見を出し合いより良いぱりっ子モールにしようとする姿が見られました。事前準備ではMIK運動さんや名張Kidsサポートークラブさんと協力し子どもたちが安全に活動できるよう準備をしたり、時間のかかる調理活動を予め來ていた子どもたちと一緒に調理したりしました。

月別活動

(6月) 市政への提言内容を考える、ぱりっ子モールに向けての準備

(8月) なばりんマップの作成、ぱりっ子モールに向けての準備

(10月) なばりんマップの作成、ぱりっ子モールに向けての準備

(11月) ぱりっ子モール開催事前準備



(2月) 通学路クリーン作戦、市政への提言及び反省会

活動を通して学んだこと

この活動を通して学んだことはなばりんマップ作成のために名張市の魅力を子どもたちから教えてもらうことで名張市の魅力を知りました。その活動の過程で子どもたちが地域の魅力について考える姿を見て自分自身も地域について考えるきっかけになり地域活動に対する重要性を学ぶことができました。さらにマップに子どもたちの意見を取り入れ作成していく完成したマップは地域の魅力が伝わってきて作成に関われたことに喜びを感じました。子どもたちの意見や発想をまとめたり引き出していくためには笑顔で積極的に子どもたちと関わり話を聞いていく姿勢が重要であることも痛感しました。ただただ子どもと関わるだけではなく、一つの目的に向かって話し合う中で、関わりを深めることができますことも学びました。最後に子どもたちの発想は自由で沢山あり、子どもたち主体で何かを成し遂げることによって、活動や子どもがいきいきとすることを今回の活動から身をもって学びました。

実施主体からのコメント

名張市子ども家庭室
ご担当者様

「こういった名張市になってほしい」という子どもからの自由な意見を聞いて、まとめる作業は、慣れない中、大変なものだったと思います。お陰で「市政への提言書」を無事にまとめていただくことができました。

皇學館大学CLLメンバーの皆さんには、ぱりっ子会議に参加している子どもとの出会いを始め、多くの大人との交流があったことだと思います。

皆さんには、この1年間の経験を今後に生かして、ご活躍いただきたいと思います。



担当教員より

教育学部 山本 智子

コロナ禍の教育実習には待機期間もあり、ぱりっ子会議に参加できないこともあります。また、新しいメンバーで取り組み戸惑いもあったことだと思います。そのような中、全体の動きを把握して、学生が担えることに積極的に取り組めたと思います。子ども達との関わり、MIK運動様、名張市様の主催者側のご苦労など活動を通じて学んだことをいかし、今後も主体的に取り組んでいくことを願っています。

成果物／制作物

